

2022年度 日本工学院専門学校											
演劇スタッフ科											
キャリアデザイン2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	山本 浩二			実務経験	有	職種	舞台スタッフ				
担当教員紹介											
舞台美術専攻担当 日本工学院専門学校 放送制作芸術科卒業 ドラマ、歌番組、バラエティー番組、CM、コンサート、ミュージカル、演劇などの大道具に携わる。											
授業概要											
ビジネス著作権検定（Basic ）受験し、資格取得することを目的とすることにより、学び・理解を深める必要性を意識できるようにすること。また、身近にある演劇・映画との関連性を通して、より学ぶ意欲を持つこと。											
到達目標											
ビジネス著作権検定（Basic ）受験、合格すること。 著作権の全体像を把握し、携わる作品に発生する権利を理解する。 学内で行われる卒業公演、修了公演に発生する著作権を身近なものとして捉え、舞台スタッフとしても把握が必要な著作権を知り、理解を深めていくことを目標とする。											
授業方法											
ビジネス著作権検定BASIC、公式テキストを使用し、著作権について学び、理解できるよう実例を挙げながら授業を行う。 基礎から演劇・映画の著作権を学ぶことによって、自分達の将来につながることを意識できるような授業内容である。											
成績評価方法											
試験・課題 平常点	80% 20%	試験と課題を総合的に評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	知的財産権										
第2回	著作権法概要										
第3回	著作物										
第4回	著作者人格権										
第5回	著作財産権										

2022年度 日本工学院専門学校	
演劇スタッフ科	
キャリアデザイン2	
第6回	職務著作
第7回	著作隣接権
第8回	著作権の保護期間
第9回	自由利用規定
第10回	保護の対象とならない著作物
第11回	侵害に対する措置と罰則
第12回	著作権法の周辺知識
第13回	世界の著作権法
第14回	法律の改正部分の確認
第15回	ビジネス著作権検定受験に向けて